様式第１号(第４条関係)

企業の技術力・地域性確認資料

工事名：第○○-○○号　○○○○○　工事

会社名:　○○建設㈱　(JVの場合:○○・△△経常建設共同企業体)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業の技術力 | 工事実績 | 実績の有無 | | | | 有　・　無 |
| 年度・工事番号 | | | | H27年度　第○○-○○号 |
| 工事名称 | | | | ○○○○○建築工事 |
| 発注機関 | | | | 佐渡市 |
| 最終請負金額 | | | | 270,000,000円 |
| 工　　期 | | | | H27.6.1～H28.3.20 |
| 受注形態 | | | | 単体　・　JV( 　%)　**代表・構成員** |
| CORINS登録番号 | | | | 5678901234 |
| 工事概要 | | | | (同種と判断可能な工種、数量等)  　　　○○建築工事  　　　　延べ面積○○㎡、RC○階建て |
| 工事成績 | 対象工事件数 | | | | ２件 |
| 成績評定点の平均 | | | | 83点(小数点以下切り捨て) |
| 表　彰 | 優良工事表彰 | | | | 有　　27年度　(　県　・　市　) 　・　無 |
| 優良工事証交付 | | | | 有　　　年度　　　・　無 |
| 労働災害防止対策 | 建設業労働災害防止協会加入　　　　　　　　　　　　有 ・ 無 | | | | |
| 建設業労働安全衛生マネジメントシステム　　　　　　有 ・ 無 | | | | |
| 労働安全衛生マネジメントシステム　　　　　　　　　 有 ・ 無 | | | | |
| 重機保有状況 | | | | ○ | ５台以上 |
|  | １台以上５台未満 |
| 専門工種の施工機械  自社保有状況 | | | | ○ | 自社保有アスファルトフィニッシャーで施工可 |
|  | リース(５年以上) アスファルトフィニッシャーで施工可 |
|  | 不可 |
| 地域社会貢献等 | 災害時における活動実績等 | | | | | 災害時に備えて締結した各種協定　　有　・　無  国 ・ 県 ・ 市　と協定締結している団体等名  「○○○○建設協会」 |
|  | | ○ | | | 新潟県被災建築物応急危険度判定士を２人以上雇用 |
|  | | | 新潟県被災建築物応急危険度判定士を１人雇用 |
| 道路除雪の実績 | 発注機関 | | | | 佐渡市 |
| 路線名等 | | | | 市道○○号○○路線 ○○地区○○～○○地区○○ |
| 工　期 | | | | H29.12.1～H30.3.31 |
| 業務内容 | | ○ | | 道路除雪作業 |
|  | | 融雪剤散布作業 |
|  | | 歩道除雪作業 |
| 地域内拠点  (主たる営業所(本社)の所在地) | | | | | 市内　　　○○　 地区 |
| 市外 |
| 労働福祉 | 障がい者雇用 | | ○ | | 法定義務のある企業であり、「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づく法定雇用義務を達成している。 |
|  | | 法定義務のある企業だが、「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づく法定雇用義務を達成してない。 |
|  | | 法定義務のない企業だが、障がい者を雇用している。 |
|  | | 法定義務のない企業であり、障がい者を雇用していない。 |
| 育児・介護制度 | | | | 育児・介護休業制度に関する就業規則等の規定　有　・　無 |
| 労働福祉の状況 | | | | 労働福祉点数(W1)　　　　45点 |
| ハッピーパートナー企業の登録 | | | | **登録**　　　有　・　無 |
| **若手技術者の育成** | **若手技術者(40歳未満)の配置** | | | | **有　・　無** |
| **市内業者の活用** | | | **○** | | **１次下請負人を市内業者から２社以上選定し、かつ、建設業以外の業務等を３社以上市内業者に発注する。** |
|  | | **１次下請負人を市内業者から１社選定し、かつ、建設業以外の業務等を３社以上市内業者に発注する。** |
|  | | **下請負人等を市内業者から選定しない。** |

※　別表１から別表４の評価基準等に応じて、項目を削除する。

※　記入に当たっては、評価項目の内容、評価基準、評価基準の詳細等を十分確認し、記載間違いや記入漏れのないよう注意してください。

様式第２号(第４条関係)

配置予定技術者の能力確認資料

工事名：第○○-○○号　○○○○○　工事

会社名:　○○建設㈱　(JVの場合:○○・△△経常建設共同企業体)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | | 佐渡　一郎 |  |  |
| 生年月日 | | S42年1月20日**(55)** | 年　月　日**( )** | 年　月　日**( )** |
| 入社年月日 | | H1年4月1日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 国家  資格 | 種類(1級・2級) | 土木施工管理技士  (１級) |  |  |
| 取得年月日 | H6年3月20日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 登録番号 | ○○○○○○○ |  |  |
| 保有年数 | 24年 | 年 | 年 |
| 舗装施工管理技術者 | 有(1級・2級)・無 | 有　(１級) |  |  |
| 取得年月日 | H10年4月1日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 登録番号 | ○○○○○○○ |  |  |
| 工事  成績  (１) | 工事成績 | 83点 | 点 | 点 |
| 年度　工事番号 | H29年度  第○○-○○号 |  |  |
| 工事名称 | ○○○○○工事 |  |  |
| 最終請負金額 | 80,000,000円 | 円 | 円 |
| 工　　期 | H29.5.1～H30.3.20 |  |  |
| 従事役職 | 監理技術者 |  |  |
| 受注形態 | 単体・JV( %)  **代表・構成員** | 単体・JV( %)  **代表・構成員** | 単体・JV( %)  **代表・構成員** |
| CORINS登録番号 | 1234567890 |  |  |
| 工事  成績  (２) | 工事成績 | 84点 | 点 | 点 |
| 年度　工事番号 | H28年度  第○○-○○号 |  |  |
| 工事名称 | ○○○○○工事 |  |  |
| 最終請負金額 | 33,000,000円 | 円 | 円 |
| 工 期 | H28.9.1～H30.3.20 |  |  |
| 従事役職 | 主任技術者 |  |  |
| 受注形態 | 単体・JV( %)  **代表・構成員** | 単体・JV( %)  **代表・構成員** | 単体・JV( %)  **代表・構成員** |
| CORINS登録番号 | 3456789012 |  |  |
| **工事**  **経験** | **年度　工事番号** | **R2年度**  **第○○-○○号** |  |  |
| **工事名称** | **○○○○工事** |  |  |
| **発注機関** | **○○○市** |  |  |
| **最終請負金額** | **283,658,000円** | **円** | **円** |
| **工　　期** | **R2.9.1～R3.3.20** |  |  |
| **受注形態** | **単体・JV (70%)**  **代表・構成員** | **単体・JV ( %)**  **代表・構成員** | **単体・JV ( %)**  **代表・構成員** |
| **従事役職** | **監理技術者** |  |  |
| **CORINS登録番号** | **3456789012** |  |  |
| **工事概要** | **(同種と判断可能な工種、数量等)**  **○○建築工事**  **延べ面積○○㎡、RC○階建て** |  |  |
| 表彰 | 優秀技術者表彰 | 有　29年度  (県 ・ 市) ・ 無 | 有　　年度  (県 ・ 市) ・ 無 | 有　　年度  (県 ・ 市) ・ 無 |
| 優秀技術者証交付 | 有　　年度  無 | 有　　年度  無 | 有　　年度  無 |
| 継続  教育 | 認定団体名 | 全国土木施工管理技士会連合会 |  |  |
| 推奨単位 | 20ユニット/年 |  |  |
| 取得単位 | 20ユニット/年 |  |  |
| 証明日 | H31.1.31 |  |  |
| 証明期間 | H30.2.1～H31.1.31 |  |  |

※　別表１から別表４の評価基準等に応じて、項目を削除する。

※　記入に当たっては、評価項目の内容、評価基準、評価基準の詳細等を十分確認し、記載間違いや記入漏れのないよう注意してください。

様式第３号(第４条関係)

簡易な施工計画

工事名：第○○-○○号　市道○号舗装修繕　工事

会社名:　裏面に記載してください。(両面印刷)

|  |  |
| --- | --- |
| 施工上配慮すべき事項 | 交通規制に伴う渋滞対策について |

|  |
| --- |
| 具体的な施工計画 |
| 当工事は、飲食店も混在するオフィス街を通る市道で行われるため、昼間の渋滞対策が課題となっていることから、交通規制に伴う渋滞対策を次のとおり講じる。  　1.広域的な広報  　・　交通規制期間における車利用の自粛を呼びかける広報として、交通規制開始前までに周辺の飲食店やオフィス等にチラシの配布を行う。  　2.交通規制期間における誘導  　・　交通規制期間における交通の円滑化を図るため、交通整理員を配置するとともに、迂回路の表示板の設置等については、夜間における視認性の向上に配慮し、内照型を使用する。  　・　1車線規制への誘導区間手前50m、100m、200mに内照型の規制看板を設置する。  　・　また、違法駐車等による更なる渋滞を発生させる可能性があるため、規制期間内には巡回して違法駐車等に対する注意等を行う。  　3.交通規制期間の短縮  　・　交通規制を行う時間帯は日中の商用車等の交通量の多い時間帯や飲食店の営業時間帯を避けた夜間に実施するものであるが、1日あたりの施工延長を延ばすために２パーティ(切削機を２台)にて短時間に集中して施工を実施する。    　　※　本工事における工程表を添付する。 |

提案会社名：　○○建設㈱

|  |  |
| --- | --- |
| 注意事項  ※１　現場の特性等を踏まえた施工上配慮すべき事項をＡ４版１枚で、２事項以上３事項以下に事項立てをし、簡潔、かつ、分かりやすく記述すること。(文字フォント11ポイント以上、行間隔や罫線枠等の書式変更は不可とする。)  ３事項を超えた場合は、記載順に3事項までを評価対象とし、以降の事項は評価対象としない。  ※２　必要に応じ、説明図表を添付してください。(Ａ４版１枚を限度とする。)  ※３　仕様書、又は設計図書等に記載されているもの若しくは施工条件として提示されているものを、そのまま提案していただいても評価の対象となりません。また、「必要に応じて・・。」「状況に応じて・・。」等の曖昧な表現は避けること。  【記載例】  事項数が明確となるように、「1　○○について」と表題をつけ、次にその内容を記載すること。   |  | | --- | | 1. ○○について   ・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・を行う。   1. □□について   ・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・を行う。   1. ◇◇について   ・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・を行う。 |   ※４　具体的な施工計画の提案に基づく設計変更は、原則として行いませんので、提案にあたってはご留意ください。 |

様式第４号(第９条関係)



様式第５号(第11条関係)